



まちネット 寄居通信『さあ 手をつなご!』はみなさんの支援力がエネルギー源

混沌とした社会に

発信しよう!

2022年も半年が過ぎ盛夏の8月へ。新型コロナウィルス感染拡大は依然続き、ワクチン接種も4回目へ。

毎年出現する集中豪雨で寄居町でも1時間に92.5mmの信じられないような降雨量が記録された。今や100年に一度などではない、常態化した気候変動も止まらない。

ロシアのウクライナ侵攻が5ヵ月以上も続く中、ガス、ガソリンを筆頭に多くの輸入食材や物価が高騰。暮らしへの不安は膨らむ一方。

防衛を追い風に参議院選挙の改憲勢力が3分の2を超えるなど私たちの暮らしやこの先の社会の変化への不安は募るばかり。自民党長期政権のもたらしめている弊害は、いたるところで露呈している。いまこそ足元の地方議会を変革していく時と思いながらも、中々思うような動きが取れない。それでも、黙っていることはできない。



町の公共交通はどうなっているの?

様々な不安が渦巻く中で今年度、熊谷ブロック地域協議会(生活クラブ生協関連の運動グループで作る協議会)でそれぞれの自治体での移動サービスの調査をし、共有することで自分たちの住む地域での移送がどのようになっているのかを知り、他自治体との比較、共通課題などを議論する機会があった。

公共交通が整備されていない寄居町では車での移動が前提となる生活だ。高齢化の進む社会で高齢者の免許返納などの呼びかけの声が高まっている中、私たちの生活の基盤である移動の自由の制限は想像以上に困難を極める。高齢者、障がい者に限らず私たちもいつ何時車の運転ができなくなるかわからない

今回、ネットの運営委員が寄居町の公共交通に関する調査を行った。以下概略

- 町の人口 34,284人
- 地形、地区特性 都心から70キロ圏に位置し、荒川が秩父の山から関東平野に流れ出る扇状地の要に発達した町です。山地、丘陵、大地、低地と多様な地形を持っています。町民は日用品の買い

物は大型量販店の集まる深谷市に行く事も多く、また、精密検査、病状が重いなどで深谷市にある地域中核病院への通院を必要とするケースもあります。

●高齢化率 32、8%

●デマンド交通 フルデマンド方式(利用予約状況に応じて運行をスケジュールリングする)

予約制(電話、ネット)6 日前から前日の 11:50 までにする

自宅⇄共通乗降場(約 360 箇所)⇄共通乗降場⇄自宅

片道 300 円

利用可能時間 8:00~17:00

現在 3 台の運行、年間利用者 17000 人

●移送サービスに関する調査

・福祉有償運送業者 8 社(町内 4 社)

「ふれあいサービス」介護認定以前の人を対象、町外への利用も可能

利用可能時間 9:00~17:00

予約 3 日前まで

料金 650 円/1 時間、年会費 500 円

有償ボランティアの付き添い可能(料金別途)

*介護保険のサービスとは別

●自治体で実施している移動に関するサービス

・障害者サポート 病院への送迎 実施(相談の上)

・介護保険 経営形態によってカウント数が変わるが、町内には約 137 カ所の施設があり、その中で様々な移動支援が行われている。

・高齢者福祉タクシー

町民税非課税世帯で高齢者75歳以上の一人暮らしまたは高齢者のみの世帯、要介護認定。

65歳以上で運転免許証の自主返納者

町が契約したタクシー会社の初乗り料金を助成する。助成券は年に36枚支給される。

●リフト付き自動車運行事業

要介護認定が必要

県内の病院への通院を支援

9:00~16:30

予約 7 日迄まで

料金 500 円/1 時間と 25 円/1 時間 年会費 1000 円

車椅子貸し出し 無料

運転手 有償ボランティアを頼む

昨年町で行ったアンケート結果から

●公共交通に関する町民意識アンケート調査(寄居町、2021 年 10 月~11 月実施 1000 世帯 回収 616 部世帯 回収率 33,3%)を行っている
内容:属性、日常の外出状況、公共交通の利用状況、
今後の公共交通について、自由意見

・老年人口が増加し、2045 年には 46.7%に達する。

・自動車依存度は高く高齢化状況も踏まえ、他交通への利用促進が求められる。



●デマンドタクシー(愛のリタクシー)登録者数 2,379 世帯へのアンケート(回収率 43%)

・登録者の約半数が利用している

・利用していない人は、使う機会がない

・利用者の 38%が満足

・利用者は微増傾向だが、収益は低く、利用促進が必要

●愛のリタクシー2022 年度予算(単位千円)

業務委託費 28,554

システム費 1,305

都市計画総務費 139,176 の中で約 20%になる

*デマンドタクシー、福祉タクシーなど移送に関しては、現状町でも利用状況、経費など多くの課題を抱えており、今後の対応が不可欠であることの認識はあるものの、まだ効果的な具体策は見えない

い。それでも周知や乗降個所の利便性などの検討をし、5 か年計画内で対応策は計画に挙げている。

●今後の改善策に向けて

- ・いろいろなケースでのヒアリングでもっと実態に即した声を拾っていく必要がある。
- ・ドア to ドアへの対応への検討
- ・町外への移動の検討

寄居町ではデマンドタクシー(愛のリタクシー)の導入は9年前と近隣では早い取り組みだった。稼働しながら修正をしていく、ということでこの間何回かのアンケート調査をするなどの取り組みを行っている。が利用者の満足度は38%にとどまっている。利用したい時間帯での集中、目的地が乗降場所の登録がされていない、全町を3台で稼働するため希望の時間帯の予約が取りづらいなどの現状がある。また、町民の3分の1がデマンドタクシーの存在を知らない、今後の利用意思も全般に低い、など課題も多く、今後の土日曜日の運行も含めた見直しに迫られている。デマンドタクシーの周知やPRに力を入れるとともに、もっと使い勝手を良くすることで利用促進が図られると思う。このデマンドタクシーを使いながら修正の提案をして行き、より快適なものとして育てていくのは利用者である私たちでもある。

今後ますます高齢化が進む中、マイカーから持続可能な環境に配慮した公共交通の転換に迫られます



さあ、困った!! 車が使えない

こんな実体験を寄せていただいた。

町内の移動手段について役場で調べる機会がありました。思っていたより多様なサービスがあってそれは良かったのですが、お恥ずかしい話、正直に言うと、自分は何の不自由も無く車で移動出来ていたから、心底はヒトゴトとしてとらえていた事に気付かされることに…。

そう、ほどなくして痛感する事態がおきたのでした。接触事故にあって、怪我は無かったのですが乗っていた車がオシャカに…。あいにく夫は長期出張中。子どもは独立しているし、近くに親戚はいません。

事故の翌日、さー困った! 買い置きを生鮮食品も底を付いているのに。期日の迫った振込みもあるのに。一番近いコンビニは歩いて40分。元気なら何かなる距離だけど、1日経ってあちこち痛くなってきておとなしくしていた方が良さそう…。

移動手段が断たれるって、こんなに困った事なんだ。行政サービスは事前予約か、ご高齢の方向けだし、民間タクシーの利用は通院以外は保険適用外で結構な出費になってしまうので使いたくないし。

この事で感じたのは、まずは年齢に関係なく行政サービスの事前予約ではカバー出来ない突発的だったり、急ぎの用事というのがある事、そしてそれは結構、大事な事だったりする事。また高齢者でなくても、体調不良等の時は、自分で運転する以外の移動手段が必要である事。更に言えば、バスの走っている町に住みたい～。

幸い仕事が休みの友人が快く車を出してくれたので助かりましたが、移動手段はヒトゴトでは無いと身を持って感じた経験でした。



K.Y

あなたの不安を届けてください！

過去こんな特集を組んだことがありました。若いころには、全く感じなかったことが、年齢を重ねることで、予期不安が膨らんでいきます。新型コロナで人との接触が少なくなっている人、健康への不安、家族の介護、経済的な不安と次々と出現してきます。もっと地域で安心して暮らし続けられるような仕組みが欲しい。こんな思いの人が多いのでは。熊谷ブロック地域協議会では次回以降地域での居場所調査を計画しています。既存の場所だけでなく、「こんな居場所があったらいいな、欲しいな」からスタート。今後町への政策提案として、自分たちの思いを発信することから始めましょう。誰かがやってくれるのを待つことなく私発がネットの基本理念です。会員の皆さん他知人友人からのヒアリングなども含めてぜひ声をお寄せください。



ゲノム編集トマト苗を福祉施設や小学校に無料配布する計画

OK シードプロジェクト(下記*を参照)では、サナテックシード株式会社/パイオニアエコサイエンス株式会社がゲノム編集されたトマト「シシリアンルーージュハイギャバ」の苗を福祉施設や小学校に配布する計画に反対するオンライン署名活動を 2021 年 10 月 29 日から行ってきました。

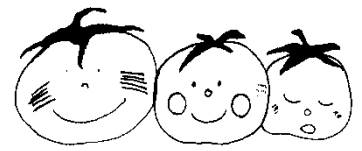
2022 年 1 月 16 日に第一次集約を行い、9195 筆を両社、そして全国の都道府県知事、教育長、福祉障がい課宛てに送付いたしました。このゲノム編集トマトは食品としての安全性の調査、環境に与える影響調査が十分に行われていないこと、福祉施設や小学校に配布された場合に、福祉施設利用者、児童には選択の余地もなく、関わりが強制されること、そしていったん栽培を始めてしまえば花粉などによる交雑などの影響が懸念されることが、改めて確認され

ました。しかし、十分な情報を持たないために判断ができないとする自治体はまだ多数に及んでおり、自治体や関係施設と科学的な根拠に基づくしっかりとした検証に基づいた情報を共有し、予防原則に基づいた対応を求めていく必要があります。

福祉施設や小学校へのゲノム編集トマト「シシリアンルーージュハイギャバ」の苗無償配布に反対する署名提出についての記者会見プレスリリースより抜粋

*OK シードプロジェクトとは、ゲノム編集トマトなどゲノム編集種苗・食品が出てくることに懸念を感じた市民が立ち上げた共同プロジェクト

遺伝子組み換え、ゲノム編集食品の基本は、①予防原則②情報公開
③選択できる ことだね！



この記事を受けて早速寄居町教育委員会と男衾小学校へ聞いてみました。

教育委員会回答:この春のメールや郵便の案内など確認したが、それらしき案内は見当たりません。したがって教育委員会を通して各小学校等へ苗の配布はないです。

教育委員会を通さずに直に小学校へ連絡が来ているかとも思い、問い合わせしてみました。

男衾小学校当直の先生の話では、学校へ直にそのような問い合わせ、配布はありません。

今年度はないのか、来年度はどうなのか、まだ見えていませんが今後の動向への対応を考えていきます。



お詫び

●はてなサロンは、コロナ拡大などで延期されていましたが、大北議員が体調不良のため中止とします。